

# はせさんず

2010 新春号 NO.49

ニュース

2010年1月18日(月)発行  
 NPO法人たすけあい大田はせさんず  
 理事長 坂口 郁子  
 〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3  
 はせさんず(会員制) 03-5747-2610  
 ヘルパーステーション 03-5747-2816  
 ケアサポート 03-5747-2800  
 デイホーム 03-5747-2660  
 元氣かい 03-5747-2605  
 FAX専用 03-5747-2620

## はせさんず15年にあたって

理事長 坂口郁子

今年、はせさんずは、設立15年を迎えました。36人での会員制たすけあい活動が始まりました。「たすけ」を求められたらとりあえず「馳せ参ずる」。どちらかというと体育会系の発想でしょうか。そこからは毎日の実績を積み上げ、それを体系化し、理論武装してハンドブックにまとめ会員に配ることで相互扶助の思いが形になり、1年ごとに確かな手ごたえが感じられるようになってきました。介護保険制度の事業者となつてから10年が経ちます。少子高齢化が進むわが国では必要不可欠な制度でした。ただし、車の両輪としての公的サービスに対するインフォーマルな

### 中学生・職場体験に

地元池上にある大森第四中学校の生徒4人が11月30日から5日間、デイホームへ職場体験に来ました。

初日は大いに緊張しながら、ご利用者の隣に座って話し相手をしました。午前中は脳トレ問題に挑戦するご利用者のそれぞれが難しい漢字の読みもスラスラなのにびっくり。

午後は外出組と室内組に分かれて体験。外出組はデイの車で機能訓練を兼ねて、近隣の寺やショッピングセンターへ出かけました。室内組は将棋の相手で大活躍。女性ご利用者と男子生徒が真剣勝負の様子でした。

体験期間後半になると少し余裕ができ笑顔も出るようになって、ご利用者にも積極的



移動支援サービスのご利用者が制作した作品をデザインしたカレンダーを作りました。

共助のサービスがなくては、人らしく老いてはいけないことが活動者として身にしみています。両輪の轍(わだち)は到底揃うまでには至っていませんね。昨年、政権が交代しました。国民に見えなかった政府と官僚の姿が今までと違って見えてきました。あまり上手な手法とはいえないけれども長年の垢を落としていくのだと、ここしばらくはお手並み拝見というところでしょうか。しかし、在宅介護推進のため魅力ある介護労働環境の構築などとマニフェストにうたっていました。現実にはまだこの歌は聞こえてきていません。この10年は福祉に関する

に話しかけられるようになり遅刻したり、ポケットに手を出したことも、大人になって仕事をすると時の大切な経験になったことでしょうか。中学生が来たことはいちばん喜んでくれたのはご利用者だったかもしれません。

カルチャーショックを受けてください!

## 講演会のお知らせ

2月20日(土) 開演:13時30分

### 「マスクから世界を見る」

～テロ、作業環境、インフルエンザ、災害から呼吸を護る～

場所 大田区立消費者生活センター | 資料代 300円

講師 松村芳美さん

理学博士、(社)産業安全技術会参与、国際呼吸保護学会アジア支部長

### 「移送サービスを語る」活動者座談会

移送サービスは、はせさんず設立時からずっと続いているたすけあい活動です。15年目を迎えた移送サービスの活動者に集まっていただき、活動の意義や日々の苦心を聞きまし。参加者は8名。12月23日(水)、はせさんず会議室にて。

#### 活動のきっかけ

移送活動1年から12年のベテランまでさまざま。大田区報で活動者募集の記事を見た、家族の「やってみたら」の助言で始めたなど、

「ビジネスと違う、こんな世界があったのかと思った」「ビジネス時代に比べるとやさしい顔になったと言われる」「いろいろ勉強になっていく」などの感想も出ました。

#### 活動者の心構え

★朝8時前の活動はやはり大変だ。★ただし助け合いといっても時間にルーズになってはいけないと思う。★現場には10分前に着いて待機するようになっている。★車内のラジオは利用者を確認してからつけたほうがいい。★何もかもやってあげるのではないが「はい、着きました」でも駄目だ。車から降りて自宅や病院の中へ安全に送るまでが活動だからね。★病気が原因で「早くしろ」と乱暴に言う利用者もいるが、聞き流すなど落ち着いた対応を心がけている。

#### 安全走行

★乗り降りのドアの開閉は私達がしている。★後部座席のシートベルトを嫌がる人もいるので難しいものがあるね。

#### 駐車違反

★マンション前の駐車は管理人に話を通してお願いしたい。★駅近くでの駐車は要注意。★ボランティアといえども現在は駐車違反になってしまう。

#### 利用者との交流

★人生の先輩を乗せると仕事の話などを聞かせていただき楽しい。★でも応答がないと会話を回すのは難しいこともある。話題を引き出すには聞き上手になることかな。



左から金子文一さん、柘植輝生さん、坂口理事長、内山善太さん、大澤恵美子さん、武井修さん、狩野勲さん

#### ボランティア活動の意識

★単なる奉仕ではなく、自らが志願してやっていることだ。★なかには「私がお金を払っている」とボランティア認識のない利用者もいるね。★介護保険と違って、たすけあい活動は頼む人も頼まれる人も節度を保つことが必要だ。★移送サービスが新しい市民活動であることを地域の人にわかってもらうようPRしたい。

#### まとめ

利用者の移動の自由を貢献しているという意義を改めて確認できた座談会でした。

## はせさんずスタッフです 今年もよろしく

### デイホーム



送迎運転 内山善太  
送迎運転 河上俊成



介護員 岸本久子  
看護師 赤松尚美  
施設長 宮邊健正



介護員 北原美佐子  
生活相談員 関根壽美江  
介護員 傳法谷慶江



看護師 佐川知子  
生活相談員 石川由貴



調理員 田中ヒサ子  
調理員 鈴木克代  
調理員 田中ハル代

今年は特に、介護報酬抑制の波が通所介護に押し寄せようとしています。法令や通知の新たな解釈が次々と登場するなか、利用者のために良質なサービスを提供し続けるためには、さまざまな工夫が求められる年。その荒波に押し流されることなく、この通所介護という大事なサービスを守っていくためには、もう一度サービスのの中身を見直し、職員一人ひとりのスキルを上げていく必要があります。真に求められるサービスを提供できるよう、職員一丸となって努力を惜しまずに進もうと思っています。

### たすけあい事務局 介護保険事務局



理事長 坂口郁子  
副理事長 根本信彦

たすけあい活動は地域が基盤、見学会など地元との交流を一段と盛んにしていきたいと思えます。事務局はNPO法人全体のとりまとめ役として各事業所との調整を図り、業務を進めます。今年も職員がより一層楽しい雰囲気のある事業所になりたいと願っています。業務推進のため、新しく事務局長に佐藤悟が就任しましたのでどうぞよろしく。

### ケアサポート



ケアマネジャー 金子由貴  
ケアマネジャー 牧野晴美  
ケアマネジャー 三浦久美子

あけましておめでとうございませう。皆様はどのような新年をお迎えでしょうか？ 昨年から、医療現場から在宅へという傾向が顕著になったように感じます。在宅医療の体制はまだ充分ではないとはいえず、いづれ、家族の意識のなかでも、住み慣れた家で家族に囲まれて人生の終末期を過ごす人が増えているようにも感じます。その一方で、本来ならば施設入所をさせたいのだがそれがかなわずやむをえず、という人もいづれにしても私達は、ご利用者だけでなくご家族からも笑顔が見えるケアプランを提供できるように、今年一年、気持ちも新たにがんばります！



会員制事務 吉田安男  
介護保険事務 乙部裕美  
事務局長 佐藤 悟

### ヘルパーステーション



コーディネーター 中野ひさ子  
コーディネーター 鈴木敦子  
事務・介護員 黒田久美子  
訪問介護員 山田雅也  
コーディネーター 宇野千賀子



訪問介護員 堀井聰美  
コーディネーター 大澤恵美子  
コーディネーター 棧敷洋子

今年のヘルパーステーションはメンバーが増えて、元気いっぱいです。男性で常勤の訪問介護員や、新しいサービス提供責任者(コーディネーター)が入り、利用者へサービスできる範囲が広がってフットワークがよくになりました。今までない試みができるワークワクしています。スタッフのコミュニケーション力を上げ、広い視野を持ってよう、勉強しながら、サービス提供責任者としての誇りを持って、高齢者や障害のある方への支援に取り組んでいきたいと思っています。

### 「元気かい」



元気かい事務 井元一彦  
元気かい代表 中谷三郎  
元気かい事務 橋本早苗  
元気かい事務 石田純子  
元気かい事務 樋口孝枝

元気かいは介護予防活動をスタートして今年10月で10周年を迎える。スタート以来の登録会員は339人、うち現在活動に参加している会員は121人。平成20年度中の延べ参加人数は3005人である。

「ふれあいと生きがい」の居場所として活動が続け「親切、丁寧な指導、皆と話せる、仲間ができる、元気がもらえる、長続きするように」等々、会員から声が届いている。行政の支援もなく、限りのない活動をくじけず続けることが肝要であると今年も関係者一同勤める所存です。

### 忘年会開催!

12月23日、池上会館で職員をはじめ活動会員、利用者の総勢30名が、楽しい忘年会のひとときをすごしました。



講師の佐藤京子理事

「感染症」をテーマにヘルパー研修会開催 季節柄インフルエンザの流行が未だ収まらないなか、11月末日に第3回のヘルパー研修会を開催しました。今回は、理事で淑徳大学教授の佐藤京子さんを講師に、感染症の知識と対策について話を聞く機会を得ました。利用者はもちろん、その家族に忍びよるウイルスの影に不安を感じているヘルパーも少なくないはず。「手洗いに始まり手洗いに終わる」を、単なる心がけではなくヘルパーの業務として掲げ、今後もサービスの安全向上につなげていきたいです。

### 事務局だより

12月1日付でヘルパーステーションにサービス提供責任者の中野ひさ子さん、常勤訪問介護員山田雅也さんが入所しました。

11月末日付でデイホーム介護職員香西美穂さん、12月16日付でデイホーム看護師の西本リツ子さんが退職しました。

活動会員の皆様へお願い！  
サービスマネジメントを！  
3月の年度内までに一度精算をお願いします。